

発行日：2024年4月1日

# 環境活動レポート

株式会社 海原

## 《ご挨拶》

株式会社 海原は、古紙問屋として歩んでまいりました。近年は、地球環境問題がかなり重要視され我社も自然環境問題に対する貢献が大きいことを重く受け止め、次ページの環境方針を基に環境活動を展開し、地球環境にやさしい企業としてあるべく、環境への配慮も企業活動の大きな役割としてとらえ、新たな一步をあゆみだしました。

一般廃棄物収集運搬の許可を取得し、近年は、再生事業者登録の取得を目指し、排出者様へ古紙のリサイクル提案をさせて頂いております。以下、「環境活動レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

株式会社 海原  
代表取締役社長 海原 健二

## 《目次》

|                      |         |
|----------------------|---------|
| I. 環境方針              | P-1     |
| II. 事業活動の規模          | P-2 P-3 |
| III. EA21 推進体制       | P-4     |
| IV. 環境目標とその実績        | P-5     |
| V. 環境活動の取組計画と評価      | P-6 P-7 |
| VI. 環境関連法規制の遵守       | P-7     |
| VII. 代表者による全体の見直しの結果 | P-7     |

# I．環境方針

## 〔基本理念〕

(株)海原は、古紙問屋として、環境に配慮した古紙のリサイクル業務に心がけ、古紙の分別指導や、リサイクル化への提案をしていきます。  
古紙のリサイクル推進活動を行い地球環境保全に配慮し、  
かつ廃棄物のリサイクル推進活動を行い地球環境保全に配慮し、  
持続的発展社会の実現に向けて貢献いたします。

## 〔基本方針〕

- 1．事業活動において関係する法令、規制などを守り業務にあたります。
- 2．エコドライブによる環境負荷への低減の為、アイドリングストップ及び収集ルートの効率化を図り、CO2 排出を抑制します。
- 3．自らが排出する廃棄物の削減と自らが使用する水資源の削減に取り組みます。
- 4．古紙問屋としての社会的・環境的位置づけを再確認した上で、事業者から出る古紙の分別指導や、リサイクル化への提案をしていきます。
- 5．環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより環境マネジメントシステムの継続的改善につなげていきます。
- 6．環境理念・方針を積極的に開示し、地域社会とのコミュニケーションを行い信頼構築に努めます。

～ この環境方針は、社内外に公表します ～

2024年 4月 1日  
株式会社 海原  
代表取締役 海原 健二

## Ⅱ．事業活動の規模

### 1．事業者及び代表者名

株式会社 海原

代表取締役社長 海原 健二

### 2．所在地

〒374-0042 群馬県館林市近藤町3-5

TEL 0276-73-0047

FAX 0276-73-0578

### 3．環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者： 代表取締役社長 海原 健二

環境管理責任者： 専務取締役 海原 崇

### 4．対象範囲

株式会社海原 全組織・全活動

### 5．事業の内容

認証範囲:古紙再生資源回収及び一般廃棄物収集運搬

法人設立年月日:昭和25年10月1日

資本金:1000万円

売上高:7000万円

[一般廃棄物収集運搬業]

許可番号:館林 837号 許可年月日:令和4年10月1日

有効期限:令和6年9月30日

### 6．事業の規模

ヤード:500㎡

車両:大型車 1台

4トンパッカー車 1台

アームロール8トン車 1台 4トン車 1台

2トン車 1台

フォークリフト 3台

### 7．レポートの対象期間

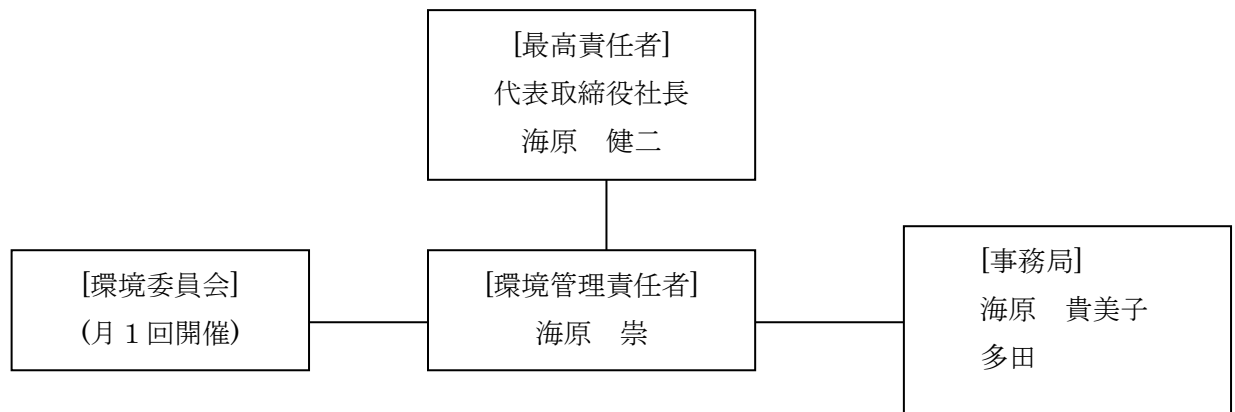
2023年4月1日から2024年3月31日

### 8．処理実績 (製紙原料としての実績)

| (単位:トン) | 2023 年度 |
|---------|---------|
| ダンボール   | 3,360   |
| 新聞      | 240     |
| 雑誌      | 195     |
| ビニール雑袋  | 360     |
| 上質紙     | 96      |
| 上台紙     | 210     |
| 牛乳パック   | 6       |
| 合計      | 4,467トン |

9. 一般廃棄物収集運搬実績 40 kg

### Ⅲ. E A 2 1 推進体制



| 職名      | 役割                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 最高責任者   | <b>【代表取締役社長 海原 健二】</b><br>① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。<br>② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器設備・技術技能を含む）を準備する。<br>③ 環境方針を制定する。<br>④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 |
| 環境管理責任者 | <b>【海原 崇】</b><br>① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。<br>② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。                                                                                         |
| 事務局     | <b>【海原 貴美子 ・ 多田】</b><br>① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。                                                                                                                                                                      |
| 環境委員会   | 最高責任者・環境管理責任者・事務局で構成し、月1回環境管理責任者が招集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。                                                                                                                                         |

### Ⅳ. 環境目標とその実績

## 1. 2023年度 環境目標と環境負荷・実績

| 環境目標項目              |           | 単位                        | 2022年度      | 2023年度      |       |             |
|---------------------|-----------|---------------------------|-------------|-------------|-------|-------------|
|                     |           |                           | 実績<br>(基準値) | 目標<br>(△1%) | 実績    | 目標の<br>達成状況 |
| 二酸化炭素排出量の削減         | 電力の削減     | kwh/ t                    | 5.04        | 4.98        | 4.90  | 達成          |
|                     | ガソリン使用の削減 | ℓ/ t                      | 0.63        | 0.62        | 0.67  | 未達          |
|                     | 軽油使用の削減   | ℓ/ t                      | 2.89        | 2.86        | 3.06  | 未達          |
|                     | 二酸化炭素排出量  | kg-CO <sub>2</sub><br>/ t | 10.92       | 10.81       | 10.89 | 未達          |
| 廃棄物の削減              |           | k g /人                    | 4.00        | 3.96        | 4.00  | 未達          |
| 水資源投入量の削減【従業員一人当たり】 |           | m3/人                      | 6.5         | 6.4         | 5.3   | 達成          |
| リサイクル提案件数【累計件数】     |           | 件                         | 10 件        | 10 件        | 10 件  | 達成          |

※二酸化炭素排出量を算出に用いた購入電力の排出係数は東京電力 0.390 kg - CO<sub>2</sub>/k Wh (2022年度調整後) です。

### ※環境負荷の実績

| 項目       | 単位                 | 総量     |
|----------|--------------------|--------|
| 二酸化炭素排出量 | kg・CO <sub>2</sub> | 48,648 |
| 廃棄物排出量   | kg                 | 24     |
| 水資源投入量   | m <sup>3</sup>     | 30     |

### ※中長期目標

2022年度を基準として

2023年度：1%削減

2024年度：2%削減

2025年度：3%削減 とする。

## V. 環境活動の取組と評価

| 取組計画                                                                                                                                                                                                                       | 評価                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 二酸化炭素排出量の削減</p> <p>『目標達成手段』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空調温度の適正化・表示</li> <li>2. 照明・電源不要時のオフの推進</li> <li>3. エアコン清掃の実施</li> <li>4. エコドライブの推進</li> <li>5. 社用車の点検・整備</li> <li>6. 電力、ガソリン量の集計</li> </ol> | <p>評価【×】</p> <p>目標値【10.81】に対して実績値(10.89)でした。<br/>パッカー車の使用頻度が増加し、軽油の使用量が増加した。</p> <p>エコドライブの継続。</p> <p>【次年度の取組内容】<br/>引き続き継続して左記の活動を実施する。</p>                          |
| <p>② 廃棄物の削減</p> <p>『目標達成手段』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 分別ルール of 徹底</li> <li>2. 廃棄物置場の整備</li> <li>3. 再生利用ルートの確保</li> <li>4. 裏紙使用ルールの徹底</li> </ol>                                                        | <p>評価【×】</p> <p>目標値【3.96】に対して、実績値(4.00)でした。<br/>特に増えたイメージがないが削減する。<br/>構内を少し整理し、草刈りを実施した。</p> <p>分別に対して再確認した。</p> <p>【次年度の取組内容】<br/>引き続き廃棄物を減少するような取組を実施する。分別の徹底。</p> |
| <p>③ 水資源投入量の削減</p> <p>『目標達成手段』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎月のメーターを確認する</li> <li>2. 節水表示</li> <li>3. 増量ノズルの交換</li> <li>4. トイレの節水</li> </ol>                                                              | <p>評価【○】</p> <p>目標値【6.4】に対して、実績値(5.3)でした。<br/>水道水の使用頻度を減らした。洗車の回数など</p> <p>【次年度の取組内容】<br/>引き続き節水意識の徹底。</p>                                                            |
| <p>④ リサイクル提案件数</p> <p>目標10件</p>                                                                                                                                                                                            | <p>評価【○】</p> <p>目標値【10件】に対して、実績値(10件)でした。</p> <p>【次年度の取組内容】<br/>このまま継続していく。</p>                                                                                       |

## VI. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規

| 法規制等の名称                                 | 遵守のための取組                 | 遵守状況 |
|-----------------------------------------|--------------------------|------|
| 自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法 | 規制地域への乗り入れる際は適合車を使用する    | 遵法   |
| 浄化槽法                                    | ・保守点検の実施<br>・11条検査の実施    | 遵法   |
| 廃棄物処理法                                  | 一般廃棄物収集運搬許可              | 遵法   |
| 消防法                                     | ・危険物保管量の把握<br>・消防設備の定期点検 | 遵法   |

(2) 遵守評価の結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からも特に指摘は無く、訴訟も同様にありませんでした。

## VII. 代表者による全体の見直しの結果

環境目標の達成状況は、新規の回収店舗の増加の為、パッカー車の使用頻度が増加した。子ども会の古紙回収量が激減したが使用頻度は、同じだったため。少し検証して、行政や組合に相談したいと思います。次年度は、新入社員を募集し、新たに指導し油断せぬよう安全確認を徹底する。環境面では、電気の使用に注意し、ベアラなどの仕様に気をつけこまめに電気の使用量に注意したい。再生資源事業所登録許可も取得できたのでPRしていきたい。